

平成26年度 新産業創出地域基盤事業 【17,232千円】 <政策推進枠（中核課題）>

目的

慶應義塾大学先端生命科学研究所を始めとしたバイオテクノロジーに関する地域ポテンシャルを活かし、高度な研究開発機能の集積、ベンチャー企業などの創出、既存産業の高度化などの産業振興、時代が要請する人材育成など、品格ある都市“生命科学のメッカ”を目指す地域の発展戦略の基盤を形成する各種事業を実施する。

事業内容

□地域産業に活かす

H24鶴岡漢方PJ 試験栽培開始

- (1) バイオ産業推進室の設置
 - 産業化プロデューサー1名の配置
- (2) 地元企業等との共同研究の促進
 - 鶴岡漢方プロジェクト
 - 慶大鶴岡藻類コレクションを用いた化粧品原料開発プロジェクト
 - 鶴岡しなの花プロジェクト
- (3) 地元企業高度化・新産業開拓事業の展開
 - 鶴岡メディカルビジネスネット



H25鶴岡メディカルビジネスネット 活動の状況

□健康長寿に活かす

- (1) 鶴岡みらい健康調査の協同実施（先端研・医療関係機関・市）
 - 推進会議の開催
 - 推進セミナーの開催
 - 地域報告会の開催
 - 健康政策へ活かすための情報収集



H24鶴岡みらい健康調査 スタート



鶴岡みらい健康調査セミナー

慶應先端研が持つ
研究成果・
教育機能を

□バイオ戦略の構築 (1) バイオ戦略懇談会

□ベンチャー企業の創出・育成に活かす

- (1) ベンチャー企業創出・育成促進
 - (2) 既存ベンチャー企業の事業拡大を目的とした諸調整
 - (3) サイエンスパーク構想の新たな構築
 - (4) 合成クモ糸繊維を核とした産業戦略展開
- H25.11月に稼働を開始したスパイバー社と小島プレス工業社が共同で建設した試作研究棟



□人材育成、啓蒙・啓発に活かす

- (1) 第4回高校生バイオサミットin鶴岡開催事業
- (2) 鶴岡バイオクラスター推進シンポジウム開催事業



H25高校生バイオサミット 全国から約100名の高校生・指導教諭が鶴岡市に集結



技術活用

企業高度化

技術活用

企業創出
事業拡大

人材育成

啓蒙啓発

平成26年度 鶴岡市北部地区サイエンスパーク整備事業 【377,034千円】

目的

慶應義塾大学先端生命科学研究所を核に産業化の受け皿となるベンチャー企業やバイオ関連企業の立地を誘導するため、庄内地方拠点都市地域の基本計画の中に位置づけられている鶴岡市北部地区サイエンスパークの整備として、新たに用地を取得・造成し、インキュベーションサイト（企業向けレンタル用地）として企業等に貸し付け、研究開発企業やベンチャー企業の集積を促進する。

事業内容

〇市が開発公社に用地の取得・造成を依頼し、市が買い戻した上でレンタルサイトとして企業等に貸し出す

- (1) 事業主体：鶴岡市
- (2) 事業費：377,034千円（H26）
- (3) 取得・造成面積：約1.5ヘクタール（6筆）
- (4) 造成区域：先端研究産業支援センターの北西側
- (5) 整備内容：盛土、園路・調整池工事、上・下水道工事など
- (6) 進捗状況：6月議会に土地取得の議案を上程中



鶴岡市北部地区サイエンスパーク
整備予定地